

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標 様々な体験活動や地域の方々との交流を通して、校区の自然・歴史・文化等の良さを知り、豊かな心と自主的に行動する力、コミュニケーション能力を育てる

【今年度の取組紹介】

◇9月27日、4年ぶりに校区内4校園の子どもたちが集まり「ふれあい広場 2023」を開催しました。

◇中学生による「大柳生太鼓踊り」の発表は迫力満点でした。

◇ジャスパー瀧口さんによるマジックショーで、子どもたちも大人も一緒に笑いあうことができました。

地域の皆さんの声

・(太鼓踊り)

長い歴史がある太鼓踊りを子どもたちが踊っているのを見てとても感動しました。

・(マジック)

素でかわいい子どもたちの反応がほほえましかったです。

4年ぶりの開催となった「ふれあい広場」には地域の皆さんもたくさんお越しいただき、準備・片付け等お手伝いいただきました。校園の枠を超えて集まることの大切さを改めて実感しました。一方で、コロナ禍で始まった「命」にかかわる取組も各校園で引き続き工夫をしながら継続しました。



【今年度のまとめ】

「ふれあい広場 2023」は以前よりも規模を大幅に縮小し実施しました。実施後に開催した協議会会議で、地域の皆様のご意見をいただきましたが、子どもたちや地域の皆様が日常の垣根を越えて集まることができたことを喜ぶご意見が多数を占めました。一方で、催しが2つだけだったこと、また、どちらの催しも鑑賞が主体であったことから、子どもたちがより主体的に活動したり、発表したりする場があればよかった、とのご意見も多く寄せられました。

これらのご意見を踏まえ、来年度以降も地域で集まる「ふれあい広場」を大切にし、さらなる進化を目指したいと考えます。

【来年度に向けて】

「ふれあい広場 2024」を2024年9月25日(水)、興東館柳生中学校で行うことが決まりました。「ふれあい広場 2023」でいただいた皆様のご意見をもとに、園児から小・中学生まで異年齢のグループをつくり、子どもたちがいろいろな体験をするワークショップ形式で行うべく、詳細な内容の検討を進めています。

めざす子ども像**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**取組目標 郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成**【今年度の取組紹介】**

- ・今年度も大柳生太鼓踊り保存会の皆様を講師に迎え、「大柳生太鼓踊り」の練習に取り組みました。今年は3年生の人数が少ないため、1年生が口上、2年生が唄、そして3年生が太鼓・鉦という全校態勢での取組になりました。4年ぶり開催された「ふれあい広場 2023」で地域の皆様の前で発表することができ、地域の方からも「よかった」というお言葉をたくさんいただきました。
- ・もう一方の地域伝統芸能の学習である「木剣体操」も、柳生剣友会の先生のご指導のもと、地道に練習を積み重ねてきました。発表の場である体育大会に、今年度は地域の皆様にもお越しいただき、皆様の前で練習の成果を披露することができました。
- ・水生生物観察や民謡教室などのゲストティーチャーを招いての学習、学校周辺の環境整備等も行うことができ、地域の皆様の支えのもと、充実した活動になりました。

**【今年度のまとめ】**

コロナ禍に伴う行動制限の緩和で、地域と連携した活動をより行いやすくなり、地域の皆様に子どもたちの学びや活動を見ていただける機会も増えました。一方で、少子化・高齢化は他地域よりも深刻で、活動に参加いただく方を募っても十分に集まらないことが度々でした。活動の規模を拡大したり増やしたりすることが教員の負担増につながってしまう一面もあり、教員の働き方改革の観点からも、必要な活動を絞って重点的に注力していくことも必要なのではないかとも思われました。

学びの質を保ちつつ、より効率的な運営を目指して、知恵を出し合うことが必要と思われます。

【来年度に向けて】

来年度、本校は創立10周年の節目を迎えます。10周年記念の行事を、学校運営委員会の皆様とともに考え、地域教育協議会会長様に実行委員長を務めていただくことになりました。地域に支えられた本校の10年の歩みを確かめ、その基盤の上にさらなる飛躍・発展をめざしていきたいと考えています。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標 地域の特徴を生かした体験的な活動を多く取り入れるなかで、
「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」を育成する。

1. 柳生の伝統を学ぶ

柳生は剣道の地であります。今年度は、7月から地域の方に来ていただき、元気っ子タイムを使って全校で木剣体操を取り組み、11月に剣道体験で披露することができました。柳生の伝統である剣道の精神を小学校から伝えていけるよう、今後も地域の方とともに、取り組みたいと思います。



2. 地域の方に学ぶ

今年度は、地域の方の持っておられるお力を借りて、様々な学習に取り組みました。以前から取り組んでいる「闘茶会」「炭焼き体験」「柳生焼」「小物作り」はもちろんのこと、今年度新たに「和楽器に触れる体験」や「お米作りの話」も学習に加わりました。また柳生消防団の方からドローンを飛ばしていただき、柳生地域の防災について考えたり、地域にある「成美学寮」の寮長様にお越しいただき、全校道徳で成美学寮の様子をお話していただいたりしました。

子どもたちは多くの学びを得ることができました。



【今年度のまとめ】

今年度は新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、学校行事を見直しつつ、地域の方々との連携のもと、「お話の会」「まちたんけん」「柳生焼体験」「炭焼き体験」「剣道体験」「小物作り」、今年度新たに「和楽器に触れる体験」や「お米作りの話」「柳生消防団との地域防災学習」「成美学寮」など、地域を知る充実した内容の体験学習、また地域の方々とのふれあいを大切にした学習活動が展開することができました。また昨年度より地域の方のお力をお借りした学校ボランティアのお蔭で、学校環境整美はもちろんのこと、マラソン大会もたくさんの方に安全面での支援と応援を承りました。学校評価アンケートの中「学校は、地域と連携して特色ある教育活動を行っている」の項目は保護者から高評価の結果が出ています。

【来年度に向けて】

来年度もいろいろな体験や学習を通して、地域の伝統や産業を学び、地域の方々とのふれあいを大切にする事で、自分の郷土に誇りを持ち、自分の夢をかなえようとする子どもを育てていきたいと考えます。また学校ボランティアと児童との協働で、学校環境整美を行い、防災訓練も地域の方々と一緒にやっていく中で、地域の絆が深められる有意義な取組をしたいと考えます。また、興東館柳生中学校区での「ふれあい広場」もより充実したものにしていきたいと思ひます。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

こどもたちが地域とつながりを意識できる学習環境整備や取組の充実をはかる。

【今年度の取組紹介】

地域の方々との出会いを大切にし、地域の教育力をお借りして、本年度も本校教育を推進しました。なかでも“もち米作り”は、米に関わる様々な体験を「つながり学ぶ」大切な学習事業となっています。子どもたちは、5月の田植えに始まり、9月の稲刈り、10月の脱穀・粳摺りと色々なお話を聞いたり、体験をしたりすることができました。更に12月のしめ縄づくり、1月の大とんどまで、年間を通して本当に多くの地域の方々にお世話になりました。この米作り体験は、「地域で学ぶ体験学習事業」の豊かな学びの軸となる取組となっています。



その他にも2年生の焼き芋体験、3・4年生の絵手紙教室、蜜蝋でのろうそく作り体験、2～4年生の白砂川でのニジマス放流体験を行いました。また、6年生は校区歴史遺産学習として、運慶作の仏像等、国宝をもつ円成寺を訪問しました。ここまでたくさんの活動が実施できたことは、地域の方々のご協力のたまものであると感謝しています。



【今年度のまとめ】

本年度も地域の方々の熱心な支援・協力のもと、学校としての取組を順調に進めることができました。山間部の地域ではありますが、このような活動を体験している児童は少なく、どの体験活動においても児童が生き生きと、楽しそうに活動している姿から、本当に貴重な経験をさせていただいているのだと感じました。この体験活動が有意義で、楽しく、心に残るものであったことは、学校評価アンケートの結果にも表れていました。また、地域の方々から色々な話を聞き、一緒に体験することで、地域の方々と子どものつながりもより深まっていると感じます。

【来年度に向けて】

来年度も校区の歴史や伝統・産業を学び、先人の知恵や思いに触れ、いろいろな体験を通して感性を育てることで、自分の郷土を誇れる児童を育てていきたいと考えます。コロナによる活動制限がなくなりましたが、これまでの活動を見直したうえで、地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、学校・地域の実情に合わせた取組を考えて、地域との絆をさらに強固なものにしていきたいと思います。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

自然や地域の人との関わりを通して豊かな心を育み、主体的に活動に取り組もうとする態度を育成する。

【今年度の取組紹介】

・陣屋跡、家老屋敷、もみじ橋から芳徳寺、菖蒲園、茶山、田んぼ、一刀石そして洞窟。柳生には魅力ある場所がたくさんあり、散歩に出かけています。知らないところがいっぱいあり益々地域が大好きになる子どもたちです。歴史と自然豊かな環境の中で、地域の方々に温かく声を掛けていただき、挨拶をしたり言葉を交わしたりする心地良さを味わっています。



・地域の方に畑の先生として来ていただき、米苗や夏野菜を植えています。田んぼづくりでは、水道から離れた場所までどうすれば水が引けるかを考え、収穫脱穀等を自分達で体験しました。夏野菜づくりでは自分達でリクエストをした野菜を植え、水やりや草引きのお世話をして、たくさんの野菜を収穫することができました。

給食室で調理してもらい「おいしい」「もっと食べたい」と子どもたちの嬉し笑顔です。共通の目的を持ち、友達と協力すること、考えること、自然に触れ、大切にすること等、学ぶことがたくさんありました。



・地域の方に教えていただいた陶芸体験や剣道体験、華道・茶道体験等、地域や日本の文化に触れ、普段と違う雰囲気の中で凛とした所作を体験し感性を育むことが出来ました。

【今年度のまとめ】

地域の方が講師としてご指導していただいたおかげで子ども達は園の教育活動では経験できないたくさんの学びがありました。もの・ひと・こととの出会いや関わりから自然と人と人とのつながりができました。いろいろな経験を通して認めて褒めてもらえる事は、子ども達の深い学びへとつながっていきます。地域に根差した小規模園の特性である、地域の方の温かいまなざしや声掛けをはじめとするご支援・ご協力に感謝いたします。

【来年度に向けて】

地域全体で少子化が進み利用園児が減少する中で、乳幼児期の健全な育成を担う本園の課題は大きいと感じています。園、家庭、地域が連携を取り合い、子ども達が顔見知りとなることで関係が豊かに広がっていきます。今年度、取り組んできた活動の成果を次年度に繋げ、地域と共に子どもの育ちや学びを大事に見つめ、子どもたちが主体的に「遊び」に取り組む活気ある環境を提供していきたいと思います。